

# CASBEE<sup>®</sup> 新築[簡易版]

# 評価結果

■使用評価マニュアル：CASBEE-新築(簡易版)2010年版 | 使用評価ソフト：CASBEE-NCb\_2010(v.1.6)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)京田辺市三山木駅前計画	階数	地上14階
建設地	京田辺市三山木高飛10番2他	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	520 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2014年12月 予定	評価の実施日	2012年9月19日
敷地面積	2,446 m <sup>2</sup>	作成者	来嶋明
建築面積	1,051 m <sup>2</sup>	確認日	2012年9月19日
延床面積	11,233 m <sup>2</sup>	確認者	杉村孝平

外観/パース等  
図を貼り付けるときは  
シートの保護を解除してください

### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 0.7** ★★☆☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算  
①参照値 100%  
②建築物の取組み 96%  
③上記+②以外の 96%  
④上記+ 96%

(kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.7**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.7

#### Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.2

**LR のスコア = 2.8**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.0

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.7

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.6

3 設計上の配慮事項		
総合	地域特性に配慮し、敷地内外において豊かな生活環境を形成できるような計画とした。	その他 特になし
Q1 室内環境	F☆☆☆☆の規格に適合した建築材料を全面的に利用することで、空気室環境について配慮した。	Q3 室外環境 (敷地内) 敷地境界部分に重点的に緑化を行い、良好な環境を形成するために配慮を行った。
LR1 エネルギー	特になし	LR3 敷地外環境 敷地境界部分に重点的に緑化を行い、良好な環境を形成するために配慮を行った。
Q2 サービス性能	バリアフリーについて配慮した。	
LR2 資源・マテリアル	特になし	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される